

宮城県芸術協会 絵画部門

現運営委員等の

『現在と過去』Ⅱ期

平成30年1月30日(火)－3月11日(日)

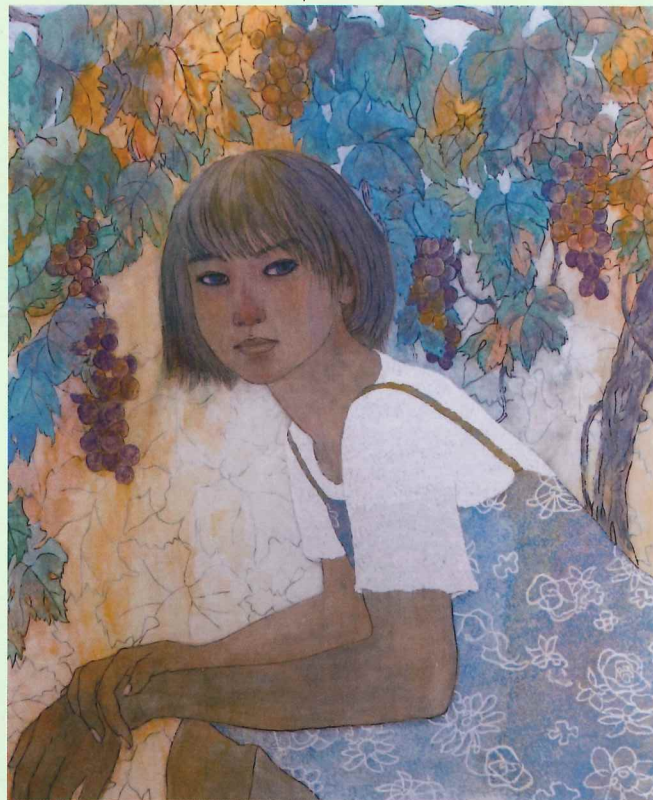
■開館時間 10:00～17:00(入館は4時30分まで)

■休館日 月曜日(2月12日は開館)

■入館料 一般 300円(20名以上の団体は240円)

65歳以上・高校生以下は無料

*カメイ美術館の企画展・常設展もご覧いただけます。



三浦 孝《十五の夏》2017年



大場 仁《寂光》2015年



大泉佐代子《ばら》2015年

主催 公益社団法人宮城県芸術協会 カメイ美術館

後援 河北新報社 NHK仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ KHB東日本放送 エフエム仙台

会場 **カメイ美術館**

〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-1-23 カメイ五橋ビル 7階
TEL: 022-264-6543 <http://www.kameimuseum.or.jp/>



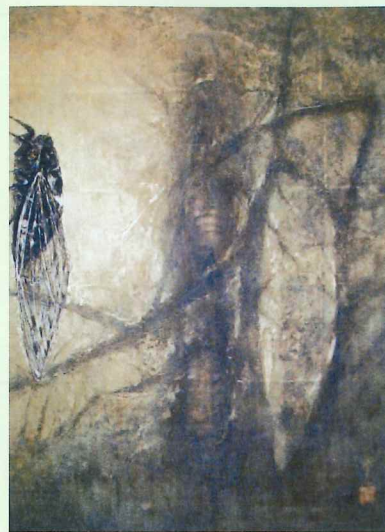
阿部好江《風 音》2017年



吉田利弘《 譜 》2017年



安藤瑞吏子《レクイエム》2010年



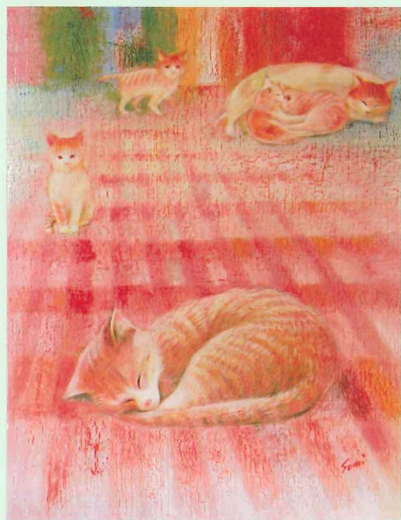
庄子幸一《慈光幻鳴》2016年



其田 章《水 温 む》2017年



村田洋子《窓 辺》1995年



佐藤寿美子《ゆ め》2017年



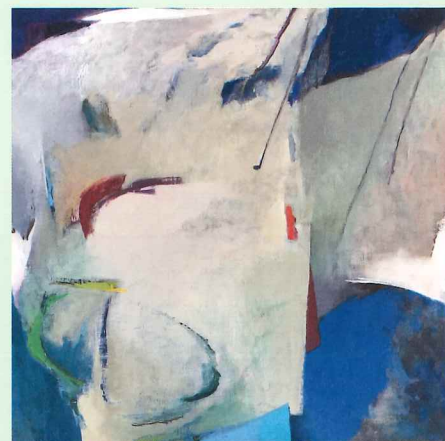
畠山信行《globe -D-》2017年



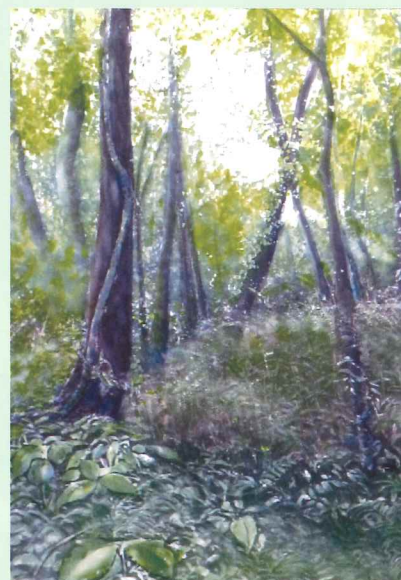
奥山和子《小さな家》2015年



能島和明《うずのしゅげ》2017年



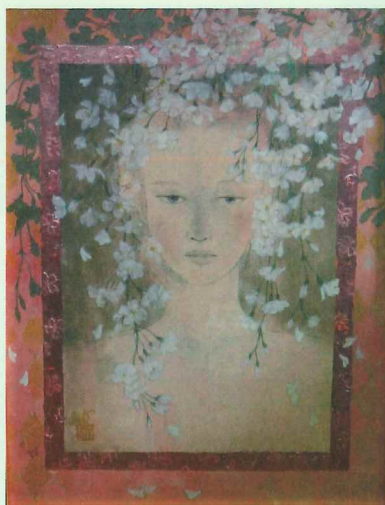
森 眞澄《DRIFT》2016年



堀井明美《森 の 詩》2017年



菅原典子《行 処 へ》2016年



佐藤朱希《さくら子》2015年



七宮牧子《将 監 沼》2016年



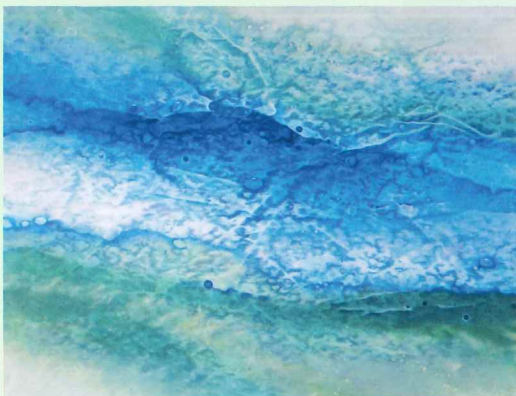
佐々木啓子《浅 春》2017年



松永 弘《颯 爽 と》2017年



原 秀一《ルオーの扉(パリ)》2017年



桜井忠彦《流転 '17-6-3》2017年



渡邊 寛《アンソニーの証し》2017年



小川和子《 花 》2017年



谷地森真理子《 漁 》2017年



天笠慶子《東縛の花》2016年

宮城県芸術協会とカメイ美術館は、芸術協会の創立期から現在に至る芸術祭審査員の作品展を「草創期の10人」、「継承する力」、「自律の様相」、「個の展開」として、昭和39年から平成15年までの芸術祭受賞作品展を「光芒の昭和」、「選ばれし作品の軌跡」と題し、平成21年度より開催してまいりました。

昨年度より3年にわたり、現運営委員等の作品を『現在と過去』と題して、近作1点、過去の作品1点を展示しています。2つの作品を比較することで、一人一人の作家の変遷を感じ取っていただけるものと思われまふ。

本展Ⅱ期では、昭和17年(後半)から昭和27年までに生まれた29名の作家の作品をご覧いただきたいと思ひます。作家としては元より、現在、芸術協会絵画部の中枢としてエネルギーに活動し、絵画部の充実発展のために力を注いでいる方々です。

この作家一人一人が、それぞれの時代にどのように対向し、そして今に至っているのか、作家の現在から過去の活動を想像していただけるものと考え企画・構成いたしました。

どうぞ高覧賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人宮城県芸術協会
カメイ美術館



佐々木和江《馬・祈り》2017年



鈴木智枝《形 象》2015年

【出品者(50音順)】

阿部 好江	天笠 慶子
安藤瑠吏子	大泉佐代子
大場 仁	小川 和子
奥山 和子	久保田 敏
桜井 忠彦	佐々木和江
佐々木啓子	佐藤 朱希
佐藤寿美子	七宮 牧子
庄子 幸一	菅原 典子
鈴木 智枝	其田 章
能島 和明	畠山 信行
原 秀一	堀井 明美
松永 弘	三浦 孝
村田 洋子	森 眞澄
谷地森真理子	吉田 利弘
渡邊 寛	



久保田敏《チロ》2016年

●作家による作品解説 2月17日(土) 午後2時より

●ギャラリーコンサート 3月 3日(土) 午後2時より

【出演者】 浅野裕里香(1st.ヴァイオリン) 平松典子(2nd.ヴァイオリン)
小澤牧子(ヴィオラ) 明珍幸希(チェロ)

モーツァルト《ディベルティメントkv.136》、エルガー《愛の挨拶》などを演奏予定

*いずれも予約不要、参加費は入館料のみです。



※駐車場はございませんので公共の交通機関をご利用ください。
Pは一般有料駐車場です。